

第2回小矢部川流域有識者会議

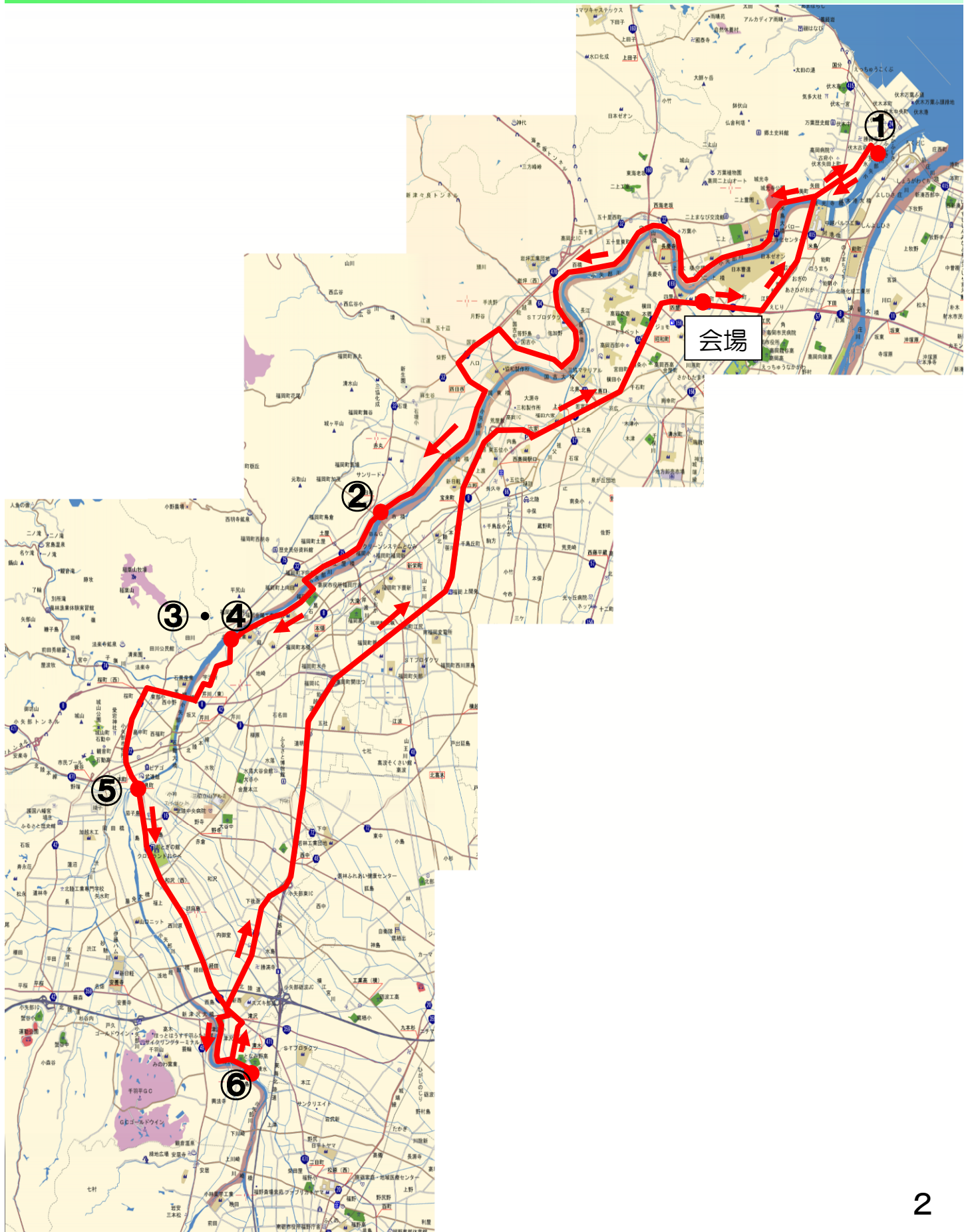
小 矢 部 川 現 地 視 察 資 料

平成21年8月25日

第2回小矢部川流域有識者会議 現地視察 行程

月 日	時 刻	時間	行き先等
8月25日	14:00		高岡地域地場産業センター 発
		(0:15)	↓
	14:15	(0:10)	① 小矢部川河口（1.0k 付近）（左岸）
	14:25		
		(0:40)	↓
	15:05	(0:10)	② 三日市頭首工（18.6 k 付近）（左岸）
	15:15		
		(0:10)	↓
	15:25	(0:10)	③④ 五位庄頭首工（23.2 k 付近）（右岸）
	15:35		
		(0:10)	↓
	15:45	(0:10)	⑤ 水辺の楽校（27.2k付近）（右岸）
	15:55		
		(0:15)	↓
	16:10	(0:10)	⑥小矢部大堰（36.7k付近）
	16:20		
		(0:30)	↓
	16:50		高岡地域地場産業センター 着

第2回小矢部川流域有識者会議 現地視察 ルート



伏木港 (ふしきこう)

富山伏木港（富山新港）：特定重要港湾(S61指定)

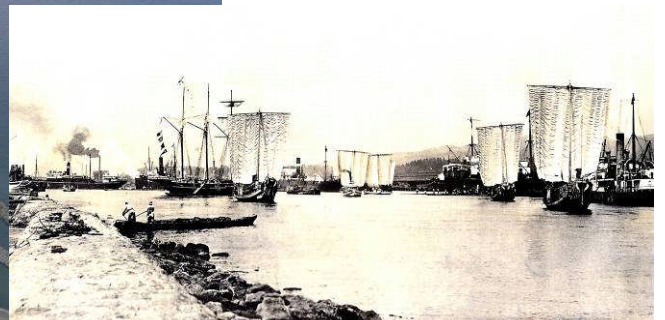
富山湾西南隅に位置する小矢部川の河口港。

1663年(寛文3年)に幕府が全国に13港設けた船政所の1港。

以来、国内各地との交易に繁栄を続け、明治22年輸出港に、同32年には開港場に指定。その後、対岸諸国との貿易港として県内外の社会経済発展の一翼を担う。

現在、船舶の大型化への対応などから、平成元年から外港建設事業に着手。

平成18年3月多目的国際ターミナルが完成。3万トンの貨物船が入港可能となり、石油製品。中古自動車、重油、原塩等、1,495万トン(H18)取り扱っている。



大正時代の様子 (T13.6.15撮影)
(奥に汽船、手前に北前船)

※特定重要港湾とは、重要港湾のうち国際海上輸送網の拠点として特に重要として政令により定められている港湾。

全国の23港が指定。北陸では富山伏木港の他、新潟港。

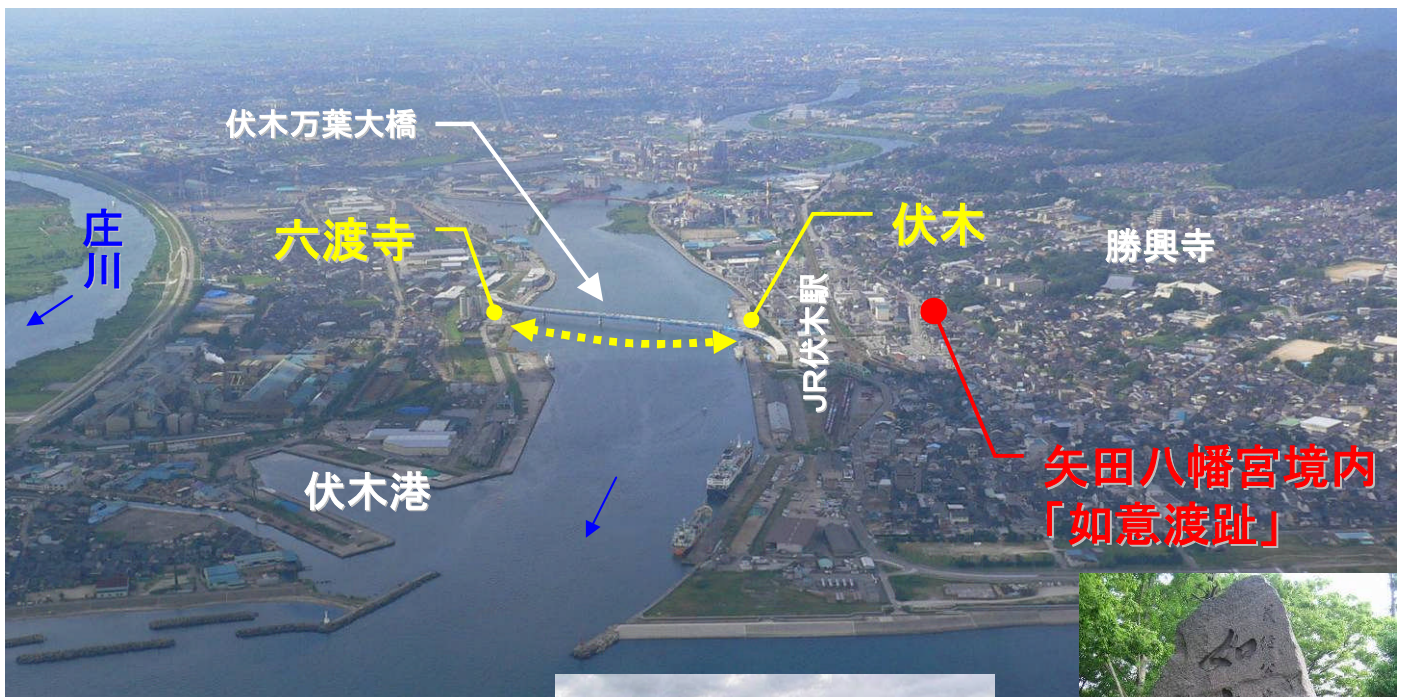
また、特に重要なものを指定特定重要港湾として指定。

京浜港(東京、川崎、横浜)、名古屋港、神戸港など。

如意の渡 (によいのわたし)

兄、源頼朝より憎まれ、東北へ逃げようとしていた源義経が、小矢部川河口の「如意の渡」にさしかかり、渡守が変装した義経に気づき正体を見破られそうになり、家来の武蔵坊弁慶が主人である義経を扇でさんざん打ちのめし、疑いを晴らし、命を助けた。この物語は、歌舞伎の世界で「安宅の関」の話として有名であるが、小矢部川が舞台という説もある。

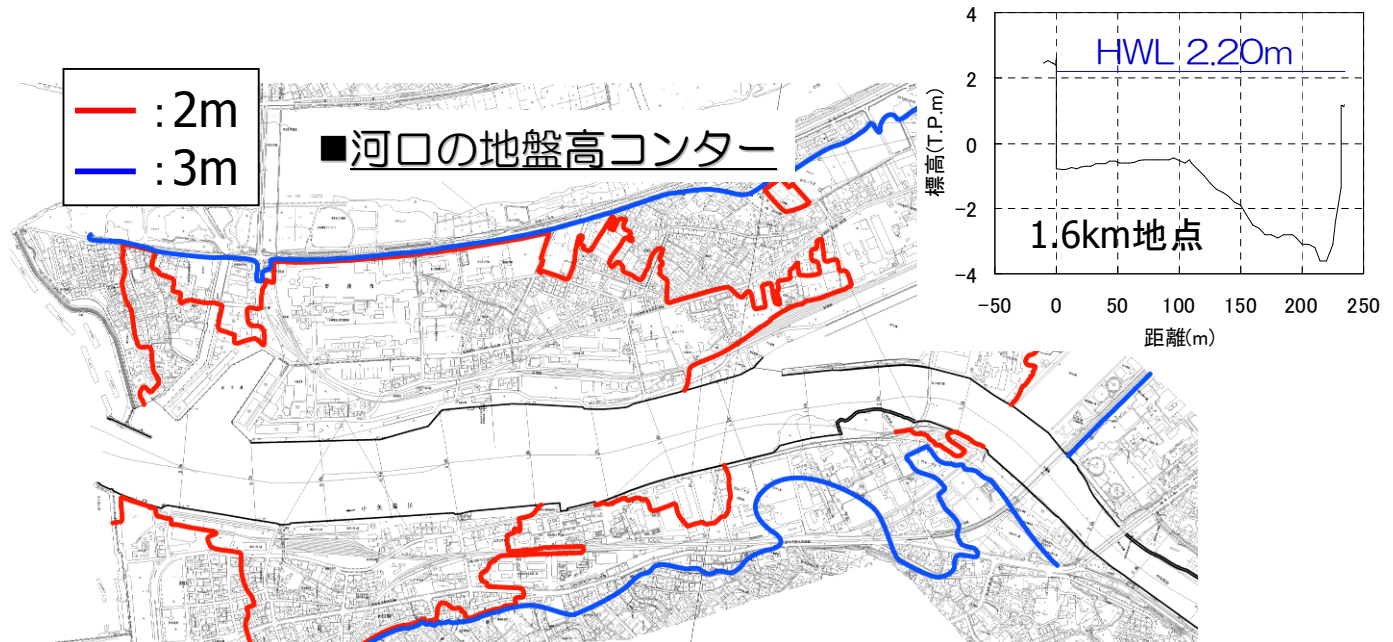
- ・当時「如意の渡」は、伏木の矢田八幡宮境内にあったが、小矢部川の流れが変わり、今では「如意渡趾」の石碑のみ。河口左岸の伏木(ふしき)と右岸六渡寺(ろくどうじ)を結ぶ渡船場で、地元民の足や観光用として利用されてきたが、伏木万葉大橋の供用に伴いH21年8月をもって廃止。



「如意渡趾」石碑

小矢部川河口（1.0km付近）

河口部では、港湾区域として船舶を停泊させている。
背後地盤高がHWL程度であるので浸水被害の危険がある。

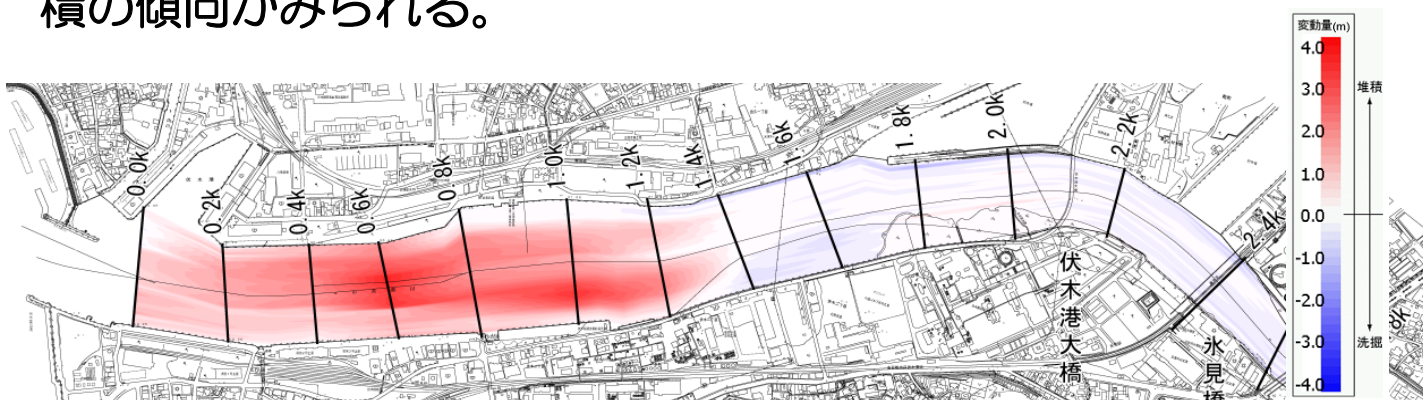


■船舶の停泊状況



■河口部の状況

港湾区域（河口～城光寺橋）では、平成14年まで港湾管理者が航路維持浚渫を実施。近年、河口～1.4km区間において土砂堆積の傾向がみられる。

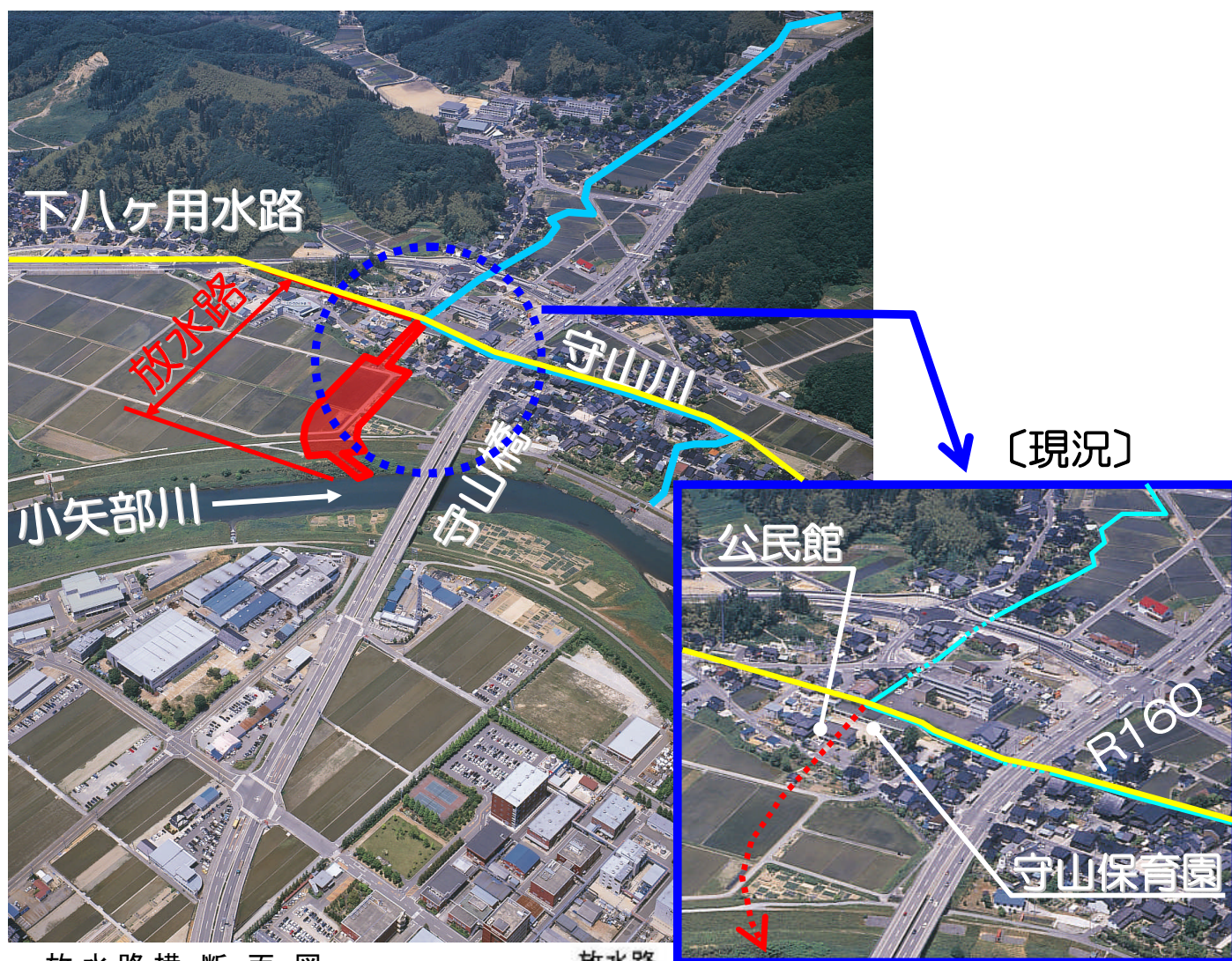


守山川（もりやまがわ）

事業の概要

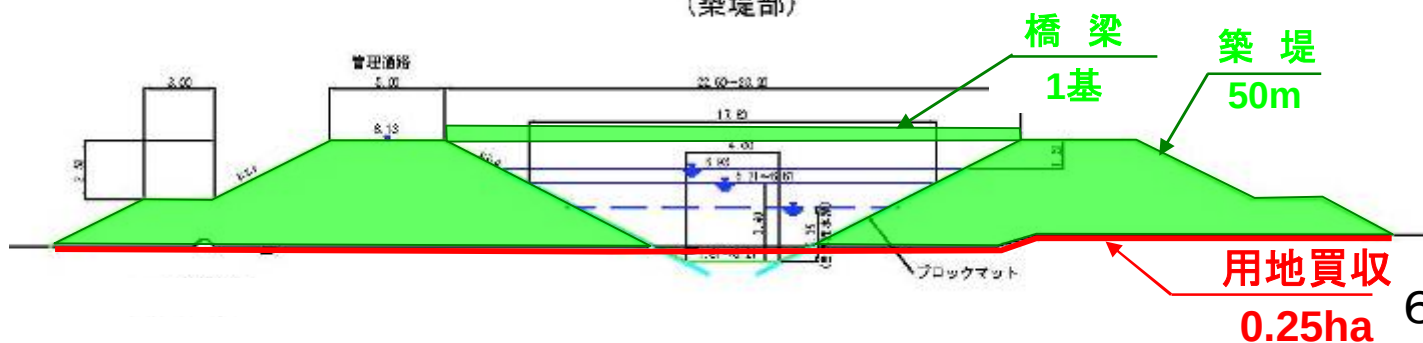
小矢部川左支川守山川の海老坂地区では、近年、既設水路の断面の流下能力不足や局所的な集中豪雨の多発により内水被害が多発していることから、高岡市が海老坂放水路設置等による内水対策をH19年度より着手している。

当事業は高岡市の改修にあわせ放水路の合流点部（橋梁【管理橋】より下流部）の合流点処理を実施し、一連の改修効果発現を図るものである。



放水路横断面図

放水路
(築堤部)



三日市頭首工（みっかいちとうしゅこう）

三日市頭首工からは、^{しもはっかさかの}下八ヶ佐加野用水（かんがい面積433ha、最大取水量 $5.25\text{m}^3/\text{s}$ ）を取水している。



■三日市頭首工周辺の状況

三日市頭首工の左岸側に魚道が設置されている。



■三日市頭首工



■魚道

■魚道の諸元

形式：階段式魚道	魚道幅：3m	延長・勾配：14.9m、1/8
隔壁落差：0.33m	隔壁高：1.35m	隔壁間隔：2.6m
切り欠き諸元：B1.0m、H0.25m	本体と入り口の距離：14.9m	

福岡防災ステーション（ふくおかぼうさい）

富山県内にある防災拠点2箇所のうちの1つであり、地域密着型の防災拠点。

防災ステーション1階には、排水ポンプ車2台、照明車1台が常駐し、災害に備えている。

2階の情報収集室では、光ファイバーやITを活用した総合防災情報の収集が可能。国、富山県、高岡市の総合防災情報が収集されている。

平成9年度に着手し、平成14年度に完成。

- ・照明車（2kW×6灯・2柱式）：1台
- ・排水ポンプ車（30m³/min）：2台
- ・富山福岡ヘリポート（富山福岡ヘリポート株式会社3㍻）



小矢部川水辺プラザ

水辺プラザ登録年月：平成18年3月

登録市町村名：高岡市

- ・地元市民参加のワークショップにより基本構想が立ち上げられ、平成18年に水辺プラザの登録がなされた。

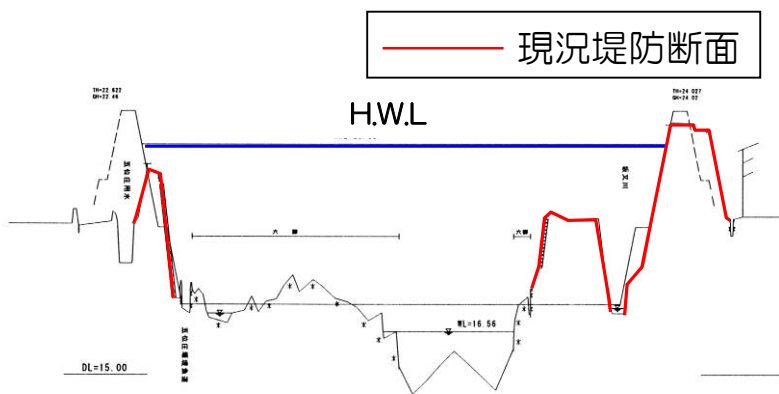
親水護岸など親水空間を活用し、花火大会なども行われる
リバーサイドフェスタが毎年開催され、多くの地域住民が小
矢部川を訪れている。



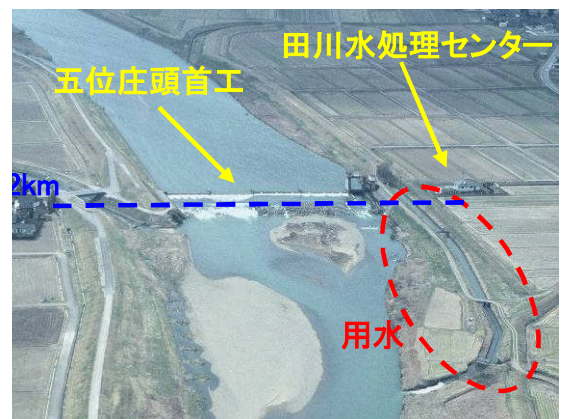
五位庄頭首工（ごいしょうとうしゅこう）

五位庄頭首工からは、五位庄用水（かんがい面積626ha、最大取水量 $5.81\text{m}^3/\text{s}$ ）を取水している。

五位庄頭首工の左岸側では、堤防高が低くなっており、流下能力確保のための築堤が必要である。また、左岸の堤脚付近に用水が流れているため、築堤ルートを選定には、改修費用や社会的な影響を考慮して選定する必要がある。



■横断面図（23.2km）



■五位庄頭首工周辺の状況

五位庄頭首工の左岸側に魚道が設置されている。



■五位庄頭首工



■魚道

■魚道の諸元

形式：階段式魚道 魚道幅：3m 長・勾配：54m、1/10

隔壁落差：0.25～0.35m 隔壁高：0.7～0.9m 隔壁間隔：2.5～3.5m

切り欠き諸元：B1.0m、H0.2m 本体と入り口の距離：50m 10

水辺の楽校（みずべのがっこう）

小矢部川水辺の楽校

- ・水辺の楽校プロジェクト登録年：平成11年
- ・事業期間：平成12年度～平成15年度
- ・事業内容：教育関係者、青年会議所、国土交通省などからなる協議会で、整備メニューや活用方法等について議論し、子供が水辺で体験学習出来るよう緩傾斜護岸などを整備。河川と親しむための組織づくりなどソフト事業も展開。



■水生生物の観察による簡易水質調査

川の通信簿の結果(平成18年)

☆☆☆☆(四つ星)相当良い、満足感を味わえる

特に良い点

- ・浅瀬が広くて良い
- ・階段がスタンドのようにになっているのがおもしろい
- ・学校の授業に生かされているのが良い
- ・芝生広場が広く、良く管理されている

特に悪い点

- ・せっかく水辺への階段があるのに、草丈が高く通路が狭い
- ・水質調査以外での活用
- ・花火等のゴミが散乱している箇所がある

総合コメント

・川に入って水辺に生息・生育する生物と直接ふれあうことが出来るすばらしい河川空間です。また、障害者用のトイレの設置など、誰もが訪れることが出来る様に配慮されている点も評価されます。休憩施設や木陰の整備・利用者のマナーの徹底によってゴミを無くす事が必要で、また、誰もが安心して水辺にいけるような工夫がされれば、更に評価が上がるでしょう。

小矢部大堰（おやべおおぜき）

- ・事業期間：昭和52年度～昭和58年度
- ・事業目的：①床止めの機能を持たせ、河床維持に対処
②約600m下流の老朽化した中部合口堰堤にかわって取水機能をもたす

中部合口堰で取水されていたかんがい用水は、小矢部大堰完成後、利水者との協議のもと、左岸2.579m³/s、右岸で2.708m³/sとなっている。



（撤去前）

小矢部大堰の右岸側に魚道が設置されている。

■魚道



■魚道の諸元

形式：階段式魚道

魚道幅：3.6m

延長・勾配：39m、1/12

隔壁落差：0.25m

隔壁高：0.75m

隔壁間隔：3.0m

切り欠き諸元：B1.2m、H0.15m

本体と入り口の距離：45m